

## 第三十五回 株式会社 USEN 放送番組審議会 議事録

開催日時:平成 24 年 11 月 6 日 16:00～

開催場所:東京都港区北青山 3-1-2 USEN 本社



### ■出席者

湯川 れい子 委員長  
有馬 祐行 副委員長  
山本 武司 副委員長  
富澤 一誠 委員  
大林 宣彦 委員

### ■局側出席者

中村 代表取締役社長 CEO  
田村 副社長執行役員  
鈴木 顧問  
益弘 顧問  
沖 放送企画本部長兼番組制作部長  
和田 番組担当  
檜尾 番組担当

### 【番組審議会事務局:森角】

### 議事内容

#### 1. 会社動向、放送事業動向についての報告

##### (1) 会社動向について

48期経営報告を行い、49期は「成長の足掛かりを掴みとる」という全社方針を掲げ、49期予算数値の確実な達成と財務体質の強化を目指すことを報告。

##### (2) 東京スカイツリータウン@BGM 紹介 WEB リリースについて

「東京スカイツリータウン@MUSIC GUIDE」と題して、東京スカイツリー、東京ソラマチで USEN が手掛ける BGM を WEB で紹介している。WEB ページでは実際に放送されている楽曲のサンプルも再生可能。

##### (3) 10 月番組改編の実施について

10月1日、既存編成内の強化による顧客満足度向上を目指し、番組改編を実施した。「J-08 こどものうた」の番組名を「みんなのうた」と改め、「C-59 あの素晴らしい音楽をもう一度」では森昌子がパーソナリティを務めるコーナーをスタートさせた。

#### (4) インターネットリクエスト受付開始について

10月1日、インターネットリクエスト受付を開始し、24時間365日リクエスト受付が可能に。

## 2. 審議課題

「リクエスト・チャンネル」について

### 【対象番組】

■A-01～05、A-58～99、C-39、R-01～09 全56チャンネル

## 3. 番組審議

### 【放送局】

今回の審議課題である「リクエスト・サービス」は、USEN音楽放送に加入いただいているお客様向けサービスで、お客様の聴きたい曲をリクエストしていただき、全56チャンネルで放送するものである。DJ紹介はなく、音楽のみの放送で、チャンネルはJ-POP、演歌、洋楽、アニメといったジャンルに分けている。従来リクエストは電話のみで受付けてきたが、今年10月1日よりインターネットリクエスト受付を始めた。電話では10:00～22:30までの対応だが、インターネットでは24時間対応する等、時代の変化に合わせてお客様の多様なニーズにお応えできるように努めている。

### 【審議委員】

リクエストといえば、昔はバーなどお店から電話すると(しばらく待てば)かかったというイメージだが、ここまでチャンネル数が増えるとうどうだろう。そのお店でたまたま流しているチャンネルが(お客様に)すぐにわかり、リクエストできるものなのだろうか。

### 【放送局】

USENご加入店を利用されているお客様からのリクエストも、ご加入店の「お客様リクエスト番号」を言っていただければスムーズに受け付けるが、確かに昔に比べチャンネルの選択肢も多様になったため、お店側からリクエスト方法を発信しなければ難しいかも知れない。

### 【審議委員】

リクエスト・サービスを活用いただける層や場所はこういったところになると考えているか。

### 【放送局】

インターネットリクエスト受付は個人ユーザー(ご家庭でUSEN音楽放送を利用いただいているお客様)をターゲットとしているが、リクエスト・サービス自体は店舗・個人共にご利用いただきたいと考えている。リクエストをご利用いただいているお客様は店舗・個人に関わらず、ご利用期間(契約から解約までの期間)が長い傾向にあることから、リクエストをご利用いただくことがお客様のロイヤルティ向上に繋がると考えられる。

**【審議委員】**

リクエストというとチャートにも繋がると思うが、USENのチャートは多種類あり複雑に思える。「これぞ、USENのチャート」は一体どれなのか。

**【放送局】**

「A-26 週間 HIT J-POP USEN 総合チャート」がそれにあたり、我々が最も注力し、実際に最も良く聴かれているのもこのチャートの番組になっている。この番組はリクエスト回数や主要チャンネルでのオンエア回数を元にランキングしている。

**【審議委員】**

多種のチャートがあるというのは素晴らしいことだが、J-POPも演歌も洋楽もすべてひっくるめた「USENを代表するチャート」がひとつあり、その他、J-POP、演歌、洋楽などジャンル別にあるというのがわかりやすいのではないか。

**【審議委員】**

チャートでいうと、純粋なリクエスト集計ランキングもあった方がいいのではないか。

**【放送局】**

USENとしてもチャート番組の考え方には問題意識を持っており、今後どういった指標を持って進めるべきか真剣に考えている。例えば、リクエストはずっと電話で受付けてきたが、今の若い世代は電話で「EXILEの〇〇を聴きたい」とリクエストする文化はないだろう。やはりインターネット受付が合っていると思う。とすれば、今、電話でいただいているリクエストが本当に世相や流行を反映したものかと考えると疑問が起こる。また、昨今レビューや口コミ等の信憑性に疑問を呈するような事象が起きており、USENでも同様の問題は起こりかねない。今すぐ単にリクエストという軸で切り取ってチャートを作るということに対する問題意識もある。

**【審議委員】**

リクエスト・サービスは本来お客様のためのサービスであり、ラジオ局でもリクエストをすることでお客様が愛着を持ってくださるということもある。そういった意味で、リクエスト・チャンネルがこれほど多数あるというのは良いことかも知れない。しかし、今やネット上で音楽が聴き放題という時代になりつつある。こうしたことを鑑みると、お客様サービスという側面ばかり考えるのではなく、USENにとってのメリットを考えていった方が良いチャンネルになっていくのではないだろうか。マーケットにも利用されるような形を作っていくには、先程議論の中で出た「チャート」を世に送り出すのもひとつだと思う。新聞等のメディアで「今週のUSENチャート1位は…」などと使ってもらえるようになればUSEN側にとってもメリットとなるし、海外から入ってくるだろうと考えられる無料ストリーミングにも対抗していけるのではないかと思う。

**【審議委員】**

J-POP、演歌、歌謡曲、洋楽、アニメなどすべてをひっくるめた「リクエスト・チャート」も欲しい。そういうチャンネルがあれば良いと思う。

**【審議委員】**

チャート(の発信)だけでも良いだろう。ジャンルを超えた音楽をひっくるめて番組で流すと、特に商用 BGM としては使いづらいかも知れない。

**【審議委員】**

現在のリクエストは匿名でのものだが、誰がリクエストしたかわかっても良いかも知れない。

**【審議委員】**

昔は音楽愛好家はハード・メディアを購入して聴いてきたが、今は物を持たない時代。今のリクエスト番組は、ある意味クラウド時代の考えに通じるのかも知れない。聴きたい音楽はすべて USEN に預けてあるというような。

**【審議委員】**

(音楽制作者の立場としては)パッケージとして音楽を買ってもらいたいと思うが、今は買わない時代だというのは事実。この変化するマーケットの中で、今 USEN はしっかりニーズを満たしているのだと思う。だからこそ、そこからの情報、前述のチャートなどを発信してもらいたい。

**【放送局】**

現在、オリコン誌や地方の新聞など様々なメディアで USEN のチャートを掲載いただいているが、さらにメディア数を増やすべく努力をしている。

**【審議委員】**

待ち時間に関する苦情はあるのか。

**【放送局】**

0 ではない。やはり「もう少し早くかけて欲しい」という要望はある。

**【審議委員】**

「待つ楽しみ」という文化は、もう日本では絶滅しているのだろう。苦情が(あまり)ないということは我慢強いのか、諦められ始めていると考えた方が良いのではないだろうか。

**【放送局】**

(リクエストの)票数を入れることが目的で、聴くことが目的ではない人もいるかも知れない。例えば、後援会の人たちが、そのアーティストを応援するためにリクエストすることもあると聞いている。

**【審議委員】**

リクエストすることがそのまま人気投票になる。つまり AKB48 の CD を 200 枚も 300 枚も買うのと同じ感覚なのかも知れない。

**【放送局】**

そういった CD の売上枚数もそうだが、票数を得たくて(リクエストの)電話だけして曲を聴かない人もいるということから考えると、我々も「本当に世の中に残して行こうとユーザーに伝えるべきほどの楽曲なのか」ということもよくよく考えなければならぬと思う。